

問1 踊り念仏を広めながら全国を巡る一遍の様子が描かれている絵巻物を何という？

1. 鳥獣戯画 2. 年中行事絵巻 3. 平治物語絵巻 4. 一遍上人絵伝

問2 鎌倉時代末期に『徒然草』を著した人物は誰？

1. 鴨長明 2. 菅原孝標女 3. 吉田兼好 4. 清少納言

問3 鎌倉幕府が成立当初、支配の中心としていた地域を何という？

1. 東日本 2. 北日本 3. 南日本 4. 西日本

問4 鎌倉時代後半に、荘園領主や幕府の支配に抵抗し、武力を行使して社会を混乱させた勢力を何という？

1. 寄人 2. 悪党 3. 浪人 4. 惣領

問5 鎌倉時代に東大寺南大門を再建し、大仏様の建築様式を取り入れた僧侶は誰？

1. 親鸞 2. 道元 3. 明庵栄西 4. 重源

問6 法然が庶民に信仰を広めた、死後の安らかな世界を何という？

1. 解脱 2. 浄土 3. 涅槃 4. 極楽

問7 北条泰時が制定した、日本最初の武家法の別名を何という？

1. 建武式目 2. 公事方御定書 3. 貞永式目 4. 御成敗式目

問8 法然の教えを継承し、さらに全国へと広めていった弟子は誰？

1. 親鸞 2. 法然 3. 空海 4. 最澄

問9 鎌倉時代、朝廷やその有力な支援者たちが支配していた土地を何という？

1. 武士 2. 職人 3. 農民 4. 貴族

問10 鎌倉時代、領地の細分化により生活が困窮した武士のことを何という？

1. 御内人 2. 御家人 3. 守護 4. 地頭

問11 浄土真宗を開き、念仏を唱えれば誰でも救われると説いた人物は誰？

1. 日蓮 2. 法然 3. 親鸞 4. 道元

問12 元軍の襲来に備えて、鎌倉幕府が九州北部の海岸に築いた石造りの防衛線を何という？

1. 防塁 2. 屯所 3. 寄合 4. 番役

問13 鎌倉幕府を倒し、1334年から天皇中心の政治を復活させようとした天皇は誰？

1. 後光厳天皇 2. 後亀山天皇 3. 後村上天皇 4. 後醍醐天皇

問14 日蓮が仏教の真の教えが記されていると説いた経典の名前は何か？

1. 観無量寿経 2. 阿弥陀経 3. 法華経 4. 般若心経

問15 1232年に日本最初の武家法を制定した、鎌倉幕府の三代執権は誰？

1. 北条時宗 2. 北条泰時 3. 北条時頼 4. 北条政子

問16 後鳥羽上皇が鎌倉幕府の打倒を目指して挙兵し、敗北した事件を何という？

1. 承久の乱 2. 保元の乱 3. 元寇 4. 平治の乱

答え合わせ・解説

問1	答え 4 一遍上人絵伝	一遍上人絵伝は、時宗の開祖・一遍が各地を巡り、踊り念仏を広めて多くの人々に救済を説く姿を描いています。当時の風景や服装、人々の様子が細部まで克明に描写されているのが特徴です。
問2	答え 3 吉田兼好	吉田兼好（兼好法師）は、元は官職に就いていましたが、のちに仏門に入り、各地を旅しながら執筆活動を行いました。その代表作『徒然草』は、無常観や生活の知恵、日々の感想を独自の感性で綴った作品です。
問3	答え 1 東日本	鎌倉幕府の当初の支配圏は、主に「東日本」に限られていました。これは頼朝が相模国（神奈川県）の鎌倉を根拠地としたためです。
問4	答え 2 悪党	彼らは「悪党」と呼ばれ、有力な武士や農民などが混在した武装集団でした。法や権威に縛られず、独自の論理で武力を行使する存在でした。
問5	答え 4 重源	重源は朝廷や幕府の協力を得て、東大寺の再建という大事業を主導しました。その際、中国（宋）の新しい技術である「大仏様（天竺様）」を導入し、太い木材を組み合わせて強度を高める力強い建築を行いました。この様式は、当時の武士の気風や鎌倉時代のたくましい文化を象徴するものとなりました。
問6	答え 2 浄土	浄土とは、阿弥陀仏が治める、迷いや苦しみから解放された極楽世界のことを指します。法然は、この浄土へ生まれ変わることを願い、ひたすら念仏を唱えることが重要だと説きました。この信仰は、現世の不平等に苦しむ人々にとって、唯一の救いとしての意義を持っていました。
問7	答え 3 貞永式目	この時に制定された法律は「御成敗式目」として知られていますが、制定された年号をとって「貞永式目」とも呼ばれます。貴族の慣習ではなく、武士たちの間に蓄積されてきた慣習を尊重したのが特徴で、武士だけでなく、当時領地を管理する上で法的保護を必要としていた人々にとっても重要な指針となりました。
問8	答え 1 親鸞	親鸞は、法然の弟子として学び、その教えをより徹底させました。特に「悪人正機」という思想を打ち出し、罪深い人間ほど阿弥陀仏の救いが必要であると説きました。彼は師匠の教えを独自の解釈で発展させ、浄土真宗を開いて全国に広めました。
問9	答え 4 貴族	貴族は、朝廷の官職に就くことで権力を持ち、経済基盤として荘園を経営していました。鎌倉時代に入り、武士による政治（幕府）が成立すると、貴族の政治的影響力は徐々に低下していきましたが、京都を中心に高度な文化を保持し続けました。
問10	答え 2 御家人	御家人は、将軍から先祖伝来の領地を安堵（保証）され、新しい土地を与えられる「御恩」を受ける代わりに、将軍のために戦う「軍役」や、京や鎌倉を警備する「番役」などの「奉公」を義務付けられていました。しかし、分割相続による領地の細分化や、元寇後の論功行賞の不足により経済的に苦しくなりました。
問11	答え 3 親鸞	親鸞は、法然の弟子として活動し、阿弥陀仏の救いを信じて念仏を唱えれば、罪深い人間であっても救われるという「悪人正機説」を説きました。門徒を自称する人々を中心に、武士や農民へ広く浸透しました。自身の教団を組織し、絶対他力を強調した点が特徴です。
問12	答え 1 防塁	博多湾の沿岸などに高さ約2メートルの石垣を築き、元軍の上陸を阻止するための備えとしました。この石垣を石築地（いしつじ）とも呼びます。
問13	答え 4 後醍醐天皇	後醍醐天皇は足利尊氏や新田義貞ら有力武士の協力を得て鎌倉幕府を滅ぼしました。その後、1334年に天皇による直接統治を目指す「建武の新政」を開始しました。
問14	答え 3 法華経	日蓮は、数ある経典の中で『法華経』こそが釈迦の教えの真髄であると主張しました。この経典を信じ、「南無妙法蓮華経」という題目（唱える言葉）を唱えることが、人々の救いにつながると説いたのです。
問15	答え 2 北条泰時	北条泰時は、連署の北条時房と共に「御成敗式目」を制定しました。これは武士社会の実態に合わせた最初の法律で、全51条からなり、土地争いの解決などを重視していました。泰時は、自らの家系が権力を持つ中であっても、法に従って公平な判決を下すことを重視し、執権政治を安定させました。
問16	答え 1 承久の乱	1221年、後鳥羽上皇が幕府の倒幕を狙って挙兵した事件を承久の乱と呼びます。北条政子の演説によって御家人たちが結集し、幕府軍は朝廷軍を圧倒しました。この乱の結果、幕府は朝廷の力を抑え込むことに成功し、天皇の廃位や配流を行う権限まで持つようになりました。